

血清アルカリホスファターゼ値と歯科症状の関係についての検討

1. 研究の対象

2010年以降に歯科治療のために当院小児歯科あるいは障害者歯科治療部を受診し、全身麻酔下にて治療を受けた患者さんのうち、全身疾患を有さない方

2. 研究目的・方法

目的：アルカリホスファターゼは身体の骨の石灰化を担う重要な酵素です。血清アルカリホスファターゼ値が低くなるほど骨が脆くなるため、骨折しやすくなったり骨が変形しやすくなることが明らかとなっています。また、血清アルカリホスファターゼの値が低い方の中で、特に著しく低い方では、全身の骨が弱くなるだけでなく、歯が抜けやすくなったり、歯を支える顎の骨の石灰化不全が生じることが報告されています。全身の骨については、血清アルカリホスファターゼ値との関係性が詳細に分かりつつありますが、血清アルカリホスファターゼ値と歯の症状との間にどのような関係性があるかということについては未だに不明な点が多々あります。そこで、本研究では、血清アルカリホスファターゼ値と歯科症状の記録を調査して、これらの関係性について検討することを目的としています。

方法：対象となる患者さんの血液検査結果と歯科症状に関する診療情報をカルテから抽出して調査します。

研究期間：研究機関の長の許可日～2030年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、血液検査結果

歯周組織検査結果や歯の異常に関連する診療録

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-8

TEL 06-6879-2962

大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学講座

研究責任者：大川 玲奈